

## 会 議 録

会 議 名	令和3年度文化によるまちづくり推進委員会（第2回）	
開 催 日 時	令和3年10月13日（水） 18時～20時	
開 催 場 所	市役所3階 大会議室	
出 席 者	齊藤 大二郎、比嘉 朝康、岸田 茂、池上 雅代、 城戸 邦之、縄田 五月、穂本 真一、原 雅典、 竹内 道子、松永 進、湯城 明彦、岩本 信子、 塩田 賢二、縄手 秀樹	委 員 数 17人 出 席 者 数 14人 欠 席 者 数 3人
欠 席 者	廣田 由実、中戸 千恵、坂井 久美子	
事務担当課 及び職員	市民部文化スポーツ推進課 市民部：川崎部長、芳司参与 文化スポーツ推進課：石田課長、丸田係長、奥 / 文化会館：渡邊館長	
会 議 次 第	1 現・文化振興ビジョンの検証と課題 2 「文化振興」の意義（ひとづくり・まちづくり） 3 その他	
事務局	<b>次第1 現・文化振興ビジョンの検証と課題</b> 事前配布資料「文化振興ビジョン2012」と「資料1」に沿って説明。	
委員	現文化振興ビジョンについて、検証の結果、課題と問題点については整理され、資料1に挙げられているが、成果については検証しないのか。この会議での検証とは、何を指すのか。	
事務局	本市の独自文化であるガラスとかるたについては、今までの取組みから今後も力を入れ続けていく1つの成果として捉えている。 また、検証については、事前に委員のみなさまから御意見をいただき、まとめたものをベースとし、課題の洗い出しを行ったことで、新たな文化振興ビジョンを策定するための検証になったと考えている。	
委員	資料「文化振興ビジョン2012」の検証結果を見ると、全体的に策定されたことが達成出来ていないという印象を受けるが、なぜできなかったのか。その原因については、検証しないのか。	
事務局	大きな原因としては、予算の十分な確保が出来ず現文化振興ビジョンの策定内容が実現に至っていないことがあげられる。検証するにあたり、その成果を数値化し、比較検討することは難しい。	
委員	現文化振興ビジョンにおいても財団の設立について検討するとある。	

事務局	<p>それについては、予算上の問題があると思うが、企業や他の市町の財団の状況を研究されたのかを聞きたい。</p> <p>県内の財団化している文化施設に、どのような経緯で財団化するに至り、運用しているのかを調査している。</p> <p>しかし、財団化については、予算や人材の確保が大きく関わってくるなど、解決する問題が多くあることから、現在まで進んでいない状況にある。今後財団化を進めていくにあたっては、本市が単独で進めていくのか、また、近隣と連携するのかなど、様々な方法を検討していく必要があると考えるため、その旨を新しい文化振興ビジョンに盛り込んでいきたい。</p> <p>また、ビジョンを補うためのアクションプランを策定し、より具体化していく必要があると考えている。</p>
委員	<p>財団設立のメリットとデメリットは何か。また、財団化を進める気が本当にあるのかを聞きたい。</p>
事務局	<p>財団化のメリットは、様々なイベントの年次計画が立てられることにある。</p> <p>現在の市で行う文化事業については、例えば、来年度に行う予定の新規事業を計画し、予算を要求したとしても、予算の確保ができなければ当該事業を進めることができない。</p> <p>財団化した場合は、例えば、来年は有名演奏者を呼んでのイベントを行う、再来年は有名役者を呼んでのイベントを行うといった、数年先までの事業計画が立てやすくなる。</p> <p>その一方で、デメリットとしては、設立にかかる初期投資の予算の確保が困難なことにある。</p> <p>(再掲になるが) 財団化については、新しい文化振興ビジョンに盛り込み、それをもって、財団化が必要という意思表示をしていきたいと考えている。</p>
委員長	<p>「財団化が必要だ。」という熱意を示すのは、本会議であると考えてる。我々が市にそうしてほしいと強くいえば、市は動いてくれるのではないかと。</p>
委員	<p>文化協会を財団化しようという動きは過去にもあった。現在の文化協会はボランティア活動であると思う。他市町の財団化している文化施設をみると、専門職員が配置されている。財団化においては、専門職員が必ず必要であると考えてる。</p>

	<p>また、現在は市と文化協会が別々で文化事業をしており、一本化していない。市と文化協会の連携が必要という話があったので、しっかり検討していただきたい。</p>
委員	<p>予算の話が度々でてきているが、文化にかかる予算は今後増えることは難しいと思う。人口減少や自然災害が増えていくなど様々な要因で市の歳入が減少し、福祉などの社会保障が増大していくことは明白なため、今後の10年間は過去の10年間に比べても予算的に厳しい状況になることを念頭に置いて、どうしていくのかを考えていくべきである。</p>
委員長	<p>宇部市では、7年前に財団化し専門職員20名が配置されている。 （一般財団法人 宇部市文化創造財団） この人件費は年間億単位であると推測されるが、これに対する収入が確保できるという仕組みづくりが大事であると思う。 この仕組みづくりに必要な知恵を出し合うことこそが本委員会の役目であると考えます。</p>
委員	<p>財団化の仕組みづくりは本委員会の役目ではなく、市の役目であると考えます。</p>
委員	<p>財団化については、市の予算だけではなく、大手の企業に文化振興の予算化をし、助成をしてもらおう（CSR：企業の社会的責任）努力もあってもいいのではないかと思います。</p>
委員長	<p>先ほどの続きになるが、一般財団法人宇部市文化創造財団の資金源は指定管理料である。 本市にもきららガラス未来館やきらら交流館、江汐公園など指定管理業者が運営しているので、この仕組みをより活用していけば、職員の人件費が確保され、専門の人材配置ができるようになると思います。 一方で、公益財団法人であれば、企業が寄附をした場合、企業側にもメリットがある。そういった利用方法を考え、知恵を出すことが本会議である。</p>
委員	<p>現在のビジョンを担当した当時の市の職員や委員になった方は、熱意をもって策定に取り組まれたと思う。しかし、この10年間で、当時の職員は、異動等によりビジョンの実施や検証までの深い部分に携わることがなく離れてしまっている。その次の担当者が、同じ熱意を引き継いでいるとは限らないため、年々熱意が薄くなってしまいう傾向にある。 トップである市長や副市長が文化に対してどれほどの熱意を持っている</p>

	かが大事であると考えている。
委員長	これからは民間との関わりが重要であると思う。財団設立に市が関わり、民間で運営することで動き続けることも検討していく必要がある。
事務局	文化振興にあたって、子どもたちを含めた鑑賞機会の充実は大きな柱の一つであり、それを実現可能にするための手法として財団化や指定管理者制度、CSRなどを活用することが大事である。 前回の会議で、この10年間の実績を示しており、ガラスやかるただけではなく、子どもたちの鑑賞機会についても、様々な取り組みを行ってきたことは評価の1つであると捉えているが、一方で十分に出来ていない部分については、予算や人材不足等に原因があると思っている。 こうした背景には、有事の際に文化は後回しにされてしまうことなど全国的な文化や芸術に対する軽視傾向にあることが考えられるため、それを踏まえて、新しい文化振興ビジョンの中で文化振興の意義を明確化し、その価値を広く訴え続けることが大事であると考えている。
委員	アクションプランの具体化が大事ではないか。
事務局	この度の新しいビジョンを踏まえたアクションプランを作る必要があると考えているので、委員のみなさまの御協力をいただきたい。
委員	文化振興の意義を明確化した上で、さらに目指すべき目標を定めて、アクションプランを具体化した方がより効果的なのではないか。
事務局	文化振興の意義は国の法律等で示されているので、次の議題で説明させていただきます。
委員	現文化振興ビジョンの第3章「文化財の保護・継承とその活用」についてはこの度の新ビジョンの策定には盛り込まないが、文化イベントと文化財の活用をリンクさせた文化振興を目指していくような内容も入れてはどうだろうか。
事務局	<b>次第2 「文化振興」の意義（ひとづくり・まちづくり）</b> <b>資料2</b> 、 <b>資料3</b> に沿って説明。  委員からの質問なし。

委員	<p>当時、現文化振興ビジョンの策定に携わっていたが、市が合併直後ということもあり、手探りでの策定だったと記憶している。</p> <p>文化会館の民間館長の登用によって、今の文化事業が形になり、さらさらガラス未来館も現ビジョンに沿った形で運営をし、市からの後押しもあり市内の学生や市内外を問わずガラス文化を広めることが出来ていると実感している。</p> <p>現在、ガラスのブランド化を進めているが、資料1の課題の中の情報発信についてもこれに併せて力を入れていく部分であると考えている。</p> <p>また、現文化振興ビジョンの検証については、出来た部分の評価についても盛り込んでいく必要があると思う。</p>
委員	<p>今までの文化の検証だけでなく、ダンスなどの新たな文化を取り入れるための検証を行ってみてはどうだろうか。</p>
事務局	<p>資料2に文化芸術の範囲を挙げているが、新たな文化の取組みについての記載を新しい文化振興ビジョンに取り入れることも検討したい。</p>
事務局	<p><b>次第3 その他</b></p> <p>以上をもって、現・文化振興ビジョンの検証と課題の抽出については一旦終了し、次回からは、資料1の課題の一覧をより深く掘り下げて新しい文化振興ビジョンの内容に反映していくため、テーマごとの部会に分けてのグループ討議形式にさせていただこうと考えている。</p> <p>各部会で協議した内容をベースに、全体会でさらに協議し、新しい文化振興ビジョンの素案を12月末を目安に作成し、年明けにパブリックコメント等を行い、今年度末の策定を考えているので、委員のみなさんの御協力をお願いしたい。</p> <p>また、テーマの振り分けと部会の振り分けについては、事務局に一任していただき、改めてお知らせする。</p>